

平成29年度の年間の活動

1. コミュニティースペースの整備

1) 子どもと一緒に丸太のベンチを作る

糸島市には森林の保護や林業の活性化について学べ、木工体験もできる九州でも珍しい施設(トンカチ館)があります。「夏休みに親子でベンチ作りを体験しよう」と、7月28日糸島市木工体験実習館「トンカチ館」において、間伐材を利用した丸太のベンチ作りを体験しました。

製作の前に子どもたちは館長より「森の話」を聞き(写真1-1)、また、朝倉市で大災害があった後でもあり自然の大切さと災害の怖さを勉強しました。指導員の方からノミの使い方や電動ヤスリの使い方を習いながらの制作は、子どもたちに怪我をさせないようにと神経を使う四苦八苦の作業で、完成した時は親も子も汗びっしょりとなっていました。(写真1-2～写真1-4)

長さ204cm幅34cm高さ35cmのベンチは、専門の防腐処理会社に運び約2か月後アップルタウン菜園内に設置できました。(写真1-5、写真1-6)木に触れ森林について考える貴重な時間となりました。



写真1-1



写真1-2



写真1-3



写真1-4



写真 1-5



写真 1-6

【参加者の感想】

猛暑の中での慣れない作業となりましたが、やり始めれば大人も子供も夢中になっていました。完成するころにはクタクタになりましたが、みんなで協力して完成させたという達成感と共に夏の良い思い出となりました。

2. 環境美化活動

1) 環境美化活動の実施

年間2回アップルタウン内の公園及び菜園の美化活動を実施しており(写真2-1・2-2)、また、地域活動の一環として近くを流れる瑞梅寺川の堤防の草刈りにも参加しています。アップルタウンができる以前に大雨のため瑞梅寺川が溢れ、周辺が冠水し床下浸水の被害があったと聞いています。アップルタウン外の地域活動にも、防災意識を持って参加しています。



写真 2-1



写真 2-2

【参加者の感想】

環境美化という目的はもちろんですが、地域住民全員で参加することでコミュニケーションの場としても役立っています。また、防災について定期的に考える良い機会でもあります。

3. 校区内の菜園付きセキスイ団地との交流

1) スマートハイムシティ波多江南との交流会

同じ校区内に私たちより2年後に完成した「スマートハイムシティ波多江南」との交流を図っています。以前から交流会の計画をしていたのですが、今回やっと実現することができました。

菜園付き住宅という共通の環境であり、地域の自治会活動と独自の自治会活動の両立という課題も共通しております。今回の交流会はあいにくの台風上陸で当初予定のバーベキューが中止となり、公民館での交流会に代わってしまいました。大盛況の交流会でした。(写真3-1～3-3)

今後、交流を深める中で課題や問題点を共有し、お互いが知恵を出し合って解決していければと思っております。



写真 3-1



写真 3-2



写真 3-3

【参加者の感想】

まず、率直に楽しい会となりました。その中で、互いの課題や問題点など多くの話題について話合うことができ、とても意義のある交流会となりました。今後も機会をつくり、交流を続けていきたいと思いました。

受賞を契機に新たに取り組んでいること

1. コミュニケーションの機会を増やす

- 1) 校区内にある菜園付きセキスイ団地との交流
- 2) 地域行事への積極的参加
地域の美化活動への積極的参加

2. 防災活動

- 1) 防災活動の継続

調査検討費の使途

- コミュニティスペースの整備(丸太のベンチ作り)
- 校区内の菜園付きセキスイ団地との交流会
- 環境美化活動の実施

近い将来取り組まなければならない課題

- 菜園の運用方法を見直すと決めた時期が今年を含め5年後に迫っており、今年の総会から5年後の総会に向けて、共同運用から新たな運用を検討して行く年になる。(総会で承認)
- 今年度からアップルタウンに地区の役員(隣組長)の順番が来ており、役員の兼務が出てくる。